

観覧のご案内

開館時間／3月～11月 9:00～17:00(受付終了16:30)
12月～2月 9:00～16:30(受付終了16:00)

休館日／水曜日、年末年始(12/28～1/4)
※2025年より、年間を通して水曜休館に変更します。ご注意ください。

入館料金 (2024年4月1日改定/消費税込)

	個人	団体(20名以上)
一般	1,000円	900円
高大生	400円	300円
小中生	300円	200円

※この料金で企画展のほか常設展示6棟および庭園を観覧いただけます。



明治期創建の警察署 山村豪雪地帯の多層民家 明治天皇行幸の郡役所



藩主の隠居所、明治以後の酒井伯爵邸 東北稀有の書院庭園



美術展覧会場(企画展) 庄内地方の生活用具 民具と職人の道具

2025(令和7)年2月15日発行 (初版) ※掲載情報は、変更となる場合もございます。最新情報は、ホームページ・X等でお知らせしています。

今でも江戸時代・城下町の趣が漂う町、山形県鶴岡市。致道博物館は、徳川四天王筆頭・酒井忠次を祖とする旧庄内藩主酒井家が、郷土文化の向上のために土地建物や伝来品を寄付し、昭和25年に創設されました。移築した3棟の重要文化財建造物、国指定名勝庭園を保存公開しているほか、考古・歴史・民俗・美術工芸などの多分野にわたる資料や酒井家伝来の文化財を豊富に展示し、庄内の歴史と文化を広く紹介しております。



国指定名勝 酒井氏庭園 重要文化財 美術展覧会場 重要文化財 旧洪谷家住宅 重要有形民俗文化財収蔵庫 旧庄内藩主御隠殿 重要文化財 旧鶴岡警察署庁舎 民具の蔵 重要文化財 旧西田川郡役所 寄付ミュージアムショップ 旧酒井家 江戸屋敷 赤門

【公式ホームページ】 【最新情報 公式X】

山形県庄内地方の歴史と文化財が集約!! 見どころいっぱい お楽しみください!

公益財団法人致道博物館 交通案内

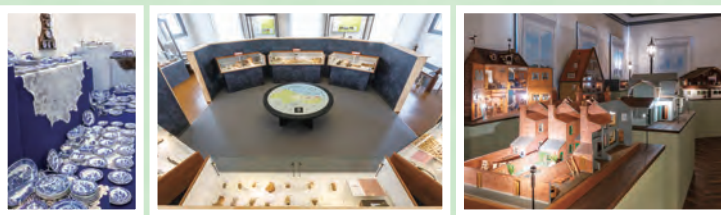
- JR鶴岡駅よりバス10分「致道博物館前」下車徒歩2分
- 山形自動車道鶴岡I.C.より車で5分
- 庄内空港より車で20分

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10番18号
Tel ☎ 0235-22-1199 Fax ☎ 0235-22-3531
https://www.chido.jp/ E-mail: infochido@chido.jp

致道博物館 2025年度年間スケジュール



重要文化財 旧西田川郡役所 常設展示リニューアル
1階:致道ミニチュアコレクション 2階:庄内考古資料室



致道博物館 CHIDO MUSEUM

館名の「致道(ちどう)」は、庄内藩校致道館に由縁し、出典は『論語』の「君子学んで以て其の道を致す」です。

CHIDO MUSEUM Exhibition Schedule

■ 新収蔵品展 刀剣と美術	■ 第46回 鶴岡書道会会員展
■ ドラマティック書画	■ 昭和百彩 歴史編 鶴岡燦誕!
■ 戸顔がいのちの〜 吉徳これくしょん	■ 第32回 鶴岡雑物語
■ 出羽庄内酒井家 受け継がれし名品	■ 昭和百彩 民俗編 鶴岡ノスタルジア
■ ART de Shonai2 うるし	■ 常設展示のみ ※企画展 展示替え
	□ 休館日 ※水曜日、年末年始(12/28～1/4)

2025年4月 April							2025年5月 May						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5					1	2	3
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31

2025年6月 June							2025年7月 July						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
29	30						27	28	29	30	31		

2025年8月 August							2025年9月 September						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2				1	2	3	4	5
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				

2025年10月 October							2025年11月 November						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							1
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29

2025年12月 December							2026年1月 January						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	31

2026年2月 February							2026年3月 March						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
							29	30					

致道の伝統行事

合同茶会《遠州流・表千家》

4/20 SUN
御隠殿と旧鶴岡警察署庁舎を会場に茶席が設けられます。どなたでも参加いただけます。呈茶券のご予約・お申込みはお早めにお願いたします。

土曜講座（全3回、各講座要申込み）

month 5-11 SAT
年に3回開催。約30年つづく毎年恒例の講座です。庄内の歴史や文化、致道博物館所蔵の資料に関わる内容を中心に、有識者の方々よりお話しいただきます。

少年少女古典素読教室（全14回）

month 6-8 予定
江戸時代から庄内藩校致道館で行っている、論語の素読。庄内論語と称される特別な読み方を学んで、朝の爽やかな時間に、大きな声で読みあげます。

「友の会」の集い（鶴岡・東京総会）

7/15 TUE
博物館の活動報告と記念講演会について、友の会会員の親睦をはかる交流会を行います。
◆会場：第一ホテル鶴岡 ※お申込みが必要です。

多層民家・旧渋谷家住宅の「火たき」

month 1-3 SUN
冬期間、週に1～2回程度、多層民家の囲炉裏で火を焚きます。茅葺き屋根に潜む虫を退治し、煤が木部や縄に付いて建物を強くする効果があります。

先賢を偲ぶ会

2025 2/15 SUN
西郷隆盛と庄内藩中老・菅実秀の行跡をふり返ります。明治21年より、現在の御隠殿を会場として西郷を祀る祭典を執り行うようになりました。菅の没後は「徳の交わり」を結んだ両者の遺徳を偲んでいます。

このほか企画展関連イベントなど、年間を通じて様々な事業を行っています。詳細は随時お知らせしています！

ちどろふれんず ☆致道と関わる☆

致道博物館「友の会」

展示や各種イベントを通じて教養を深め、会員相互の親睦をはかります。お得な特典に加え、何度でも無料で入館いただけます！（2026年3月末日まで有効）

種別	年会費	無料入館
普通会員	3,000円	会員＋1名様
特別会員	6,000円	会員＋3名様
賛助会員	10,000円～	会員＋5名様

Chihakuサポーター（ボランティア）

2025年秋、様々なかたちで博物館活動を支える登録制のボランティア組織の立ち上げを予定しています。「チハクサポーター」として、活動してみませんか？ ※募集は7月より、詳細はホームページでお知らせします。

新収蔵品展 刀剣と美術

2月15日(土)～4月14日(月)

近年の受贈から、鶴岡出身の愛刀家・三矢宮松(1880-1959)旧蔵や庄内藩土ゆかりの刀剣、書画・陶磁器等を紹介します。刀銘 兼定、刀 磨上無銘 三原、狩野了承「松鶴図」、高麗焼青磁中皿など、約40点を出品。



小林竹洞「竹林図」

ドラマティック 書画

4月18日(金)～6月16日(月)

すべての書跡や絵画にはドラマがあります。なぜその作品が生まれたのか？——創造の背景に秘められた物語。なぜその作品が現在にまで受け継がれたのか？——伝来の軌跡。その作品にはどのような思いが込められているのか？——作者たちの人生ヒストリー。時を超えて伝わる書画は、今なお私たちを魅了し続けています。一筆、一色に託されたドラマティックな物語。芸術作品としての価値を超えた、奥深い世界をお楽しみください。

主な出品:無準師範筆 禅院額字「潮音堂」(国指定重要文化財)、伝狩野元信筆「波図」(慈光明院蔵)ほか



【左】重要文化財 禅院額字「潮音堂」【右】「酒天童子」絵巻

月顔がいのちの～♪ 吉徳これくしょん

6月20日(金)～8月18日(月)

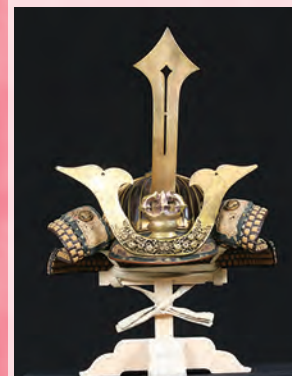
日本の人形玩具研究の第一人者で人形業界の重鎮、吉徳十世・山田徳兵衛(1896～1983)が、昭和初期頃から研究資料として収集した品々を母胎とする「吉徳これくしょん」。日本人形の祖形といわれる祓いのひとがた、人形工芸の極致ともいえる江戸期の御所人形、節句飾りの変遷を示す古雛や五月人形、また人形や玩具が描かれた浮世絵など、無慮数千点に及ぶコレクションからの精選資料により、日本が誇る人形玩具文化を見つめなおします。市松人形(やまと人形) 人形界初の人間国宝・2代平田郷陽の若年期の傑作



出羽庄内藩主酒井家 受け継がれし名品

8月22日(金)～10月20日(月)

徳川四天王の一人・酒井忠次を祖とする酒井家は、元和8年(1622)、藩主として庄内に入部し、その後250年近く庄内地方を領国経営し続けました。



重要文化財 色々威胴丸の兜

本年は、初代・忠次が活躍した長篠の戦いから450年の記念の年に当たります。大名酒井家に伝来した様々な美術品や工芸品、歴史資料などを出品し、庄内の歴史と大名家としての文化を考えます。期間中は、記念講演会や上林恒平刀匠の制作実演、「刀剣乱舞ONLINE」とのコラボレーションなど、各種イベントの実施を予定しています。

主な出品 太刀 銘 信房作、太刀 銘 真光(共に国宝)、色々威胴丸、短刀 銘 吉光 名物 信濃藤四郎(共に重要文化財)ほか

ART de Shonai 2 うるし

10月24日(金)～12月16日(月)



本間舞華「柿文盆」個人蔵

厳しくも温かな自然風土から生まれ出て、脈々と繋がれてきた庄内人が有する美の感性を紹介するシリーズ第2弾。古くから日本人の生活と深く結び付いてきた漆。江戸時代の庄内では、職人がお椀や重箱といった日用品としての漆器を作り、藩お抱えの御職人は刀の鞘などの制作に熱心に取り組みました。明治になると御職人だった阿部竹翁が竹塗を創始し、蒔絵では本間舞華などの優れた漆芸家を輩出しました。山形市在住の蒐集家が所蔵する作品を中心に展覧します。美術的価値と「用の美」を併せ持つ漆芸品の魅力に触れてください。

第46回 鶴岡書道会会員展

12月19日(金)～2026年1月13日(月)

鶴岡市にあり、流派を超えて活動する書道団体(昭和8年創設)作品展。

昭和百彩 歴史編 鶴岡爆誕！

2026年1月17日(土)～3月3日(月)

昭和100年展第1弾。旧鶴岡市が発足して101年、平成の大合併によって現在の鶴岡市が発足して20年が経ちました。昭和・平成・令和と時代は流れ、人々の暮らしは大きく様変わりしました。

本展では、この100年の間に起こった戦争や事件、災害、技術革新など、鶴岡を中心に近現代の歴史的な推移を辿ります。



鶴岡市銀座通り 昭和48年3月11日撮影 鶴岡市郷土資料館蔵



暮らしの道具たち あの道具は今？

昭和百彩 民俗編

鶴岡ノスタルジア

3月7日(土)～4月20日(月)

昭和100年展第2弾。「昭和時代」(1926～1989)を振り返れば、1945年の太平洋戦争敗戦を堺に「戦前」と「戦後」と分けられ、激動の時代と称されます。特に1960年代後半から1970年代後半までの高度経済成長期、日本人の生活様式は劇的に変わりました。これらを物語る民俗資料や生活文化資料を中心に展示し、「昭和時代」を振り返ります。

第32回 鶴岡雛物語

2月21日(土)～4月5日(月)

鶴岡に春を告げる恒例の行事「鶴岡雛物語」。当館では、旧庄内藩主酒井家や市内旧家に伝わった雛人形や雛道具のほか、全国でも珍しい生菓子



「鶴岡伝統のお雛菓子」を一堂に展示します。大名家ならではの典雅な雛祭りをお楽しみください。特別企画として、鶴岡北高校旧蔵の裁縫雛型などを初公開いたします。

酒井家の有職稚児雛

グループ 作品展

2025年度 庄内姉妹人形教室作品展 10月予定
第18回「砂の会」作品展 11月1日(土)～4日(月)
第29回 鶴岡東洋蘭同好会「春蘭展」2026年3月予定

令和7年度 致道博物館 展示&イベント案内